

小学5年生における英語絵本読み聞かせがアルファベット 学習に与える影響

－児童の動機づけに焦点を当てて－

内山 寿彦*・染谷 藤重**
(令和元年8月30日受付；令和元年12月2日受理)

要 旨

本研究の目的は、小学校5年生において、英語絵本を用いたアルファベット及び英単語指導を行うことによって、児童の動機づけにどのような影響を及ぼすかを検討することにある。また、授業で指導したアルファベット及び英単語がどの程度定着しているかについても検討する。

本研究の参加者は、N県にある小学校5年生27名であった。授業は、朝読書の時間を11回使用し、HRTが電子黒板に英語絵本を映し出し、読み聞かせを行った。その後、ワークシートを用いて、アルファベット及び英単語を書き写す活動を行った。

結果の分析の結果、児童の書くことへの動機づけが有意に高まった。また、大文字・小文字に関しても事前と事後テストの比較において有意な差がみられた。英単語に関しても、有意な数値の増加がみられた。

結論として、この教材の実践は、児童の書くことへの動機づけの向上、アルファベット及び英単語の定着に有意に作用することが明らかとなった。今後は、教科としての英語を指導していくことになるため、この実践が参考になることを期待する。

KEY WORDS

English Picture Books：英語絵本 Alphabet：アルファベット 英単語：English Words
ICT Materials：ICT教材 Motivation：動機づけ

1 はじめに

2020年度より小学校5、6年生から小学校高学年において外国語が教科化に、3、4年生において外国語活動が必修化となる。それに伴って、今まで、教科化前の外国語活動で行われていなかったものとして、「読むこと」「書くこと」が今後導入される。「読むこと」「書くこと」は、「聞くこと」「話すこと」に比べて、児童にとっての負担が大きいこともあり、慎重に扱うことが必要になることが指摘されている（文部科学省，2017）。特に、文字を導入するにあたっては、音声から文字に進めることが求められており、そのためのツールとしては、歌やチャンツ、絵本を使うと効果的であるということが指摘される（吉田，2017）。

本研究では、「読むこと」「書くこと」の導入にあたって、アルファベット指導及び、文字指導のために英語絵本の読み聞かせを用いた実践を行い、児童の動機づけの変化とアルファベットの習得、英単語の読みの習得にどのような影響があるかに関して言及する。

2 先行研究

2.1 英語絵本の効果

英語絵本を外国語（活動）で用いる意義について、衣笠（2013：88-89）は、「①まとまりのある英語を聞くことができる。②表現や語彙の意味を推測・推理する力、大意をつかむ力を育む。③絵本の内容やイラストから異文化に触れ、異文化への興味・関心が高まる。④英語の内容やイラストから異文化に触れ、異文化への興味関心が高まる。⑤絵本のメッセージが心の成長を助ける。」という5点を挙げている。これらのことを踏まえて、英語絵本を用いることで、児童の動機づけを高め、異文化や言葉への興味・関心を育てることにつながることができると考えられる。

2.2 書くこと（文字）の指導

『学習指導要領（平成29年度告知）外国語・外国語活動編』（文部科学省，2017）によれば、「書くこと」の目標としては、「ア 大文字，小文字を活字体で書くことができるようにする。また，語順を意識しながら音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を書き写すことができるようにする。」（p.81）及び「イ 自分のことや身近で簡単な事柄について，例文を参考に，音声で十分に慣れ親しんだ簡単な語句や基本的な表現を用いて書くことができるようにする。」（p.82）とされている。

文部科学省（2017）によれば、「書くこと」には，下記の4つがあるとしている。

- (1) 活字体の大文字・小文字を書く活動
- (2) 相手に伝えるなどの目的を持って，簡単な語句を書き写す活動
- (3) 相手に伝えるなどの目的を持って，基本的な表現を書き写す活動
- (4) 名前や年齢・趣味・好き嫌いなどを例の中から言葉を選んで書く活動

特に，注意すべきは，小学校外国語における「書くこと」とは，基本的には，「書き写す」活動であるということである。この点に注意をして，動機づけを低下させないように指導することが求められている。

2.3 動機づけ

上記の先行研究より，児童が書くことに対して内発的動機づけを高めながら，学習を行っていく必要がある。その点で，英語絵本を用いてアルファベット及び英単語の指導を行うことには意義があると考えられる。

本研究では，書くことに興味がある，知ることが楽しい，もっと知りたいなどの内発的に動機づけられた状態を表す内発的動機づけについて扱う。

3 研究の目的

本研究の目的は，小学校5年生に対して，朝読書の時間に，英語絵本を読み聞かせ，その中に出てくるアルファベットと単語を練習（書き写す）することによって，児童がどの程度アルファベットや単語が理解できるようになるかを検討することにある。

また，アルファベットや単語の理解度と動機づけとの関連の検討も行う。

4 授業実践と方法

4.1 参加者

参加者は，B小学校5年生児童27名であった。この小学校の特徴としては，市の中心部より離れたところにあり，児童達は，非常に真面目である。基本的には，同じ地区の中学校に進学し，中には，少し離れたところにある国立大学附属中学校に進学する児童も存在する。英語の授業に関しては，5年生から学級担任（HRT）とALTとともに外国語活動の授業を週1回受けている。

4.2 実践時期と方法

2016年5月から6月にかけて行われた。調査方法は，事前事後のアルファベット及び英単語のテスト（付録1）と内発的動機づけに関するアンケート（付録2）である。

4.3 A市B小学校での実践

アルファベットに関する英語の絵本を，朝読書の時間に読み聞かせで行い，その後，ワークシートによるアルファベット及び英単語の書き取り練習を行った。

調査に用いられた単語は，表1に示す26語である。

日本語での解説（翻訳）は一切行わず，PCを用いたディスプレイ上のカーソルで対象となる英単語や挿絵を示したり，ジェスチャーを用いて読み聞かせをしたりする等，英語での読み聞かせを心がけた。なお，対象のページに書かれている内容がどんなお話だったかについては日本語で意見を言わせるようにし，内容理解を学級全体に広めることとした。

表1 読み聞かせで用いた英単語一覧表

大文字	小文字	英単語	大文字	小文字	英単語
A	a	animals	N	n	nose
B	b	badger	O	o	orange
C	c	coat	P	p	parcel
D	d	ducks	Q	q	quilt
E	e	ears	R	r	rabbit
F	f	flowers	S	s	squirrel
G	g	grass	T	t	tools
H	h	hedgehog	U	u	underpants
I	i	icicles	V	v	vase
J	j	jug	W	w	wheelbarrow
K	k	kettle	X	x	fox
L	l	leaves	Y	y	yoghurt
M	m	mole	Z	z	zebra

また、読み聞かせの際に用いたスライドを図1、ワークシートを図2に示す。

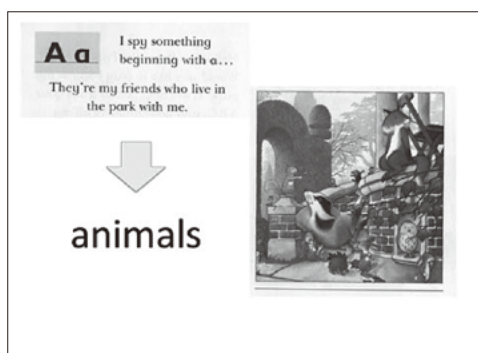


図1 読み聞かせの際に用いたスライドの例

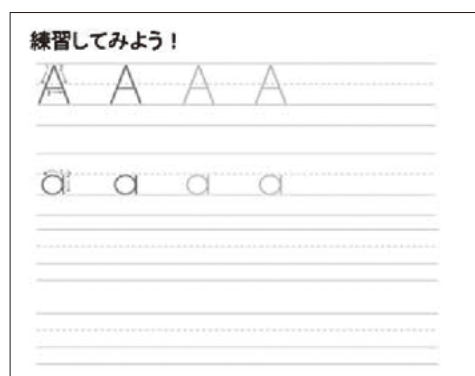


図2 ワークシートの例

4.4 結果の分析

4.4.1 内発的動機の変化

まず、読み聞かせ前の内発的動機づけと後の内発的動機づけがどのように変化したかを検討するために、対応のある分散分析を行った。

記述統計量と分散分析の結果を表2、3に示す。分析の結果、読み聞かせ前よりも読み聞かせ後の方が、内発的動機の数値が有意に高いことが示された ($F(1, 26) = 9.51, p < .01, \text{partial } \eta^2 = .27$)。

表2 内発的動機の記述統計量

	<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>N</i>
内発的動機 pre	3.73	0.76	27
内発的動機 post	4.11	0.54	27

表3 分散分析の結果

	タイプⅢSS	<i>df</i>	<i>MS</i>	<i>F</i>	<i>Sig.</i>	partial η^2
内発的動機	2.00	1	2.00	9.51	0.01	0.27
誤差(内発的動機)	5.48	26	0.21			

4.4.2 英単語の理解度の検定

次に、読み聞かせた英単語がどの程度理解できるようになったかを検定するために、対応のある分散分析を行った。その記述統計量と分散分析の結果を表4, 5に示す。

分散分析の結果、児童の英単語の理解度は、読み聞かせの前と後では、有意に数値が伸びていることが示された ($F(1, 26) = 190.51, p < .001, \text{partial } \eta^2 = .88$)。

表4 英単語の記述統計量

	<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>N</i>
英単語 pre	0.59	2.14	27
英単語 post	2.67	1.62	27

表5 英単語の分散分析の結果

	タイプⅢSS	<i>df</i>	<i>MS</i>	<i>F</i>	<i>Sig.</i>	partial η^2
英単語の理解度	58.07	1.00	58.07	190.51	.00	.88
誤差(英単語の理解度)	7.93	26.00	.31			

4.4.3 アルファベットの理解度の検定

読み聞かせの前と後で、アルファベットの理解度がどの程度変わったかを検定するために、対応のある分散分析を行った。大文字に関する分析結果を表6, 7に、小文字に関する分析結果を表8, 9に示す。

分析の結果、大文字、小文字ともに読み聞かせの前後では、有意に書ける文字の数が増加していることが明らかとなった (大文字: $F(1, 26) = 5.53, p < .05, \text{partial } \eta^2 = .18$, 小文字: $F(1, 26) = 33.20, p < .01, \text{partial } \eta^2 = .56$)。

表6 大文字の記述統計量

	<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>N</i>
大文字 pre	17.56	9.62	27
大文字 post	21.33	6.81	27

表7 大文字の分散分析の結果

	タイプⅢSS	<i>df</i>	<i>MS</i>	<i>F</i>	<i>Sig.</i>	partial η^2
大文字	192.67	1.00	192.67	5.53	.03	.18
誤差(大文字)	905.33	26.00	34.82			

表8 小文字の記述統計量

	<i>M</i>	<i>SD</i>	<i>N</i>
小文字 pre	6.89	10.29	27
小文字 post	18.00	8.55	27

表9 小文字の分散分析の結果

	タイプⅢSS	<i>df</i>	<i>MS</i>	<i>F</i>	<i>Sig.</i>	partial η^2
小文字	1666.67	1.00	1666.67	33.20	.00	.56
誤差(小文字)	1305.33	26.00	50.21			

4.4.4 動機づけ、英単語の理解度、及びアルファベットの理解度の関連性

事後調査での、動機づけ、英単語の理解度、及びアルファベットの理解度がどのように関連しているかを検討するために、相関係数を算出した。その結果を表10に示す。

分析の結果、内発的動機は、小文字と中程度の相関を示していた ($r = .50, p < .01$)。そして、大文字と小文字の理解度には、相関があることが示された ($r = .46, p < .05$)。

表10 相関係数

	内発的動機	英単語	大文字	小文字
内発的動機	—	0.26	0.27	.50**
英単語	—	—	0.12	0.24
大文字	—	—	—	.46*
小文字	—	—	—	—

5 考察

まず、内発的動機づけの変化に関する結果から、英語絵本の読み聞かせは、児童の内発的動機を高める効果があると考えられる。児童たちは、英語絵本を用いて、アルファベット学習を行うことによって、アルファベットや英単語に興味関心を示し、その学習を楽しみ、面白いと感じていると考えられる。

次に英単語の理解度に関する調査の結果から、朝読書というほんのわずかな時間の練習であっても、8問中、約2.5問は理解できるようになった。これは、もっと時間をかけて丁寧に指導を行うことによって、更なる英単語の理解が可能であることを示してと考えられる。逆に言えば、もっと多くの時間をかけて指導しなければ、文字をきちんと理解することは困難であるということができよう。

アルファベットの分析の結果から、大文字、小文字ともに読み聞かせの前後では、書ける数が有意に増加していた。この結果から、アルファベットの習得に、英語絵本を読み聞かせ、書く練習をさせる方法は、ある程度有効であると考えられる。

相関分析の結果から、内発的動機と小文字の理解度の間に中程度の相関が見られた。このことから、英語絵本の読み聞かせが楽しい、面白いと感じている児童は、小文字が書けるようになる傾向があると考えられるであろう。また、小文字と大文字の間にも正の相関があるため、小文字の習得と大文字の習得も密接に関連していると考えられる。

6 結論

今後の小学校英語教育において、「読むこと」「書くこと」の重要性は、増してくると考えられる。本研究では、児童の動機づけを下げずに、アルファベット及び英単語を導入する手段として、ICT（電子黒板）を用いた、英語絵本読み聞かせに関する実践を行い効果を検証した。検証の結果、統計的に有意に良い結果が出たものの、詳細に見てみると、十分な指導ができたかと考えると疑問が残る。「書くこと」を導入するには、非常に時間がかかるということが、本研究で得られた、以前から言及されてきたことの再認であろう。今後、書くことに関する研究が増え、より効果的に動機づけを高め、書くことができるようになる指導について、研究していくことが課題となる。この課題を解決するために、今後もより良い指導の方法を検討していきたい。

付録1. 英単語テストの例

問題 絵の内容を表す英語(単語)に○をつけてください。わからない場合は、「わからない」に○をつけてください。

(1) 答え⇒ears



ears	air	cat	わからない
------	-----	-----	-------

(2) 答え⇒vase



vase	video	wall	わからない
------	-------	------	-------

(3) 答え⇒kettle



kettle	keyboad	health	わからない
--------	---------	--------	-------

(4) 答え⇒grass



quiz	gas	grass	わからない
------	-----	-------	-------

(5) 答え⇒hedgehog



head	hedgehog	beach ball	わからない
------	----------	------------	-------

(6) 答え⇒squirrel



square	spot	squirrel	わからない
--------	------	----------	-------

(7) 答え⇒wheelbarrow



vegetable	wheelbarrow	white	わからない
-----------	-------------	-------	-------

(8) 答え⇒underpants



water	underpants	undershirts	わからない
-------	------------	-------------	-------

付録2. 内発的動機づけに関する質問項目

- ・英語を書くことについて興味がある (5 - 4 - 3 - 2 - 1)
- ・英語を書くことを学びたいと思う (5 - 4 - 3 - 2 - 1)
- ・英語を書くことを学ぶことは好き (5 - 4 - 3 - 2 - 1)

付記

本研究は、2016年7月に宮城教育大学で行われた「第16回小学校英語教育学会（JES）宮城大会」において口頭発表されたものを基に執筆したものである。

引用文献

- Butterworth, N. (1998). *Percy the Park Keeper ABC*. UK: HarperCollins Publishers Ltd
- 衣笠知子 (2013). 「7章 教材研究 (1) 児童が英語に楽しく触れ、慣れ親しむ活動」樋口忠彦 (編著) 『小学校英語教育法入門』東京：研究社.
- 廣森友人 (2006). 『外国語学習者の動機づけを高める理論と実践』. 多賀出版：東京.
- 文部科学省 (2017). 『小学校学習指導要領解説 外国語活動・外国語編 平成29年7月－平成29年告示』開隆堂：東京.
- 吉田研作 (2017). 『小学校英語はじめる教科書 外国語科・外国語活動指導者育成のために－コア・カリキュラムに沿って－』東京：株式会社mpi松香フォニックス.

The Influence of English Picture Book Storytelling for Alphabet Learning Among Fifth Grade Children – Focusing on Student Motivation

Toshihiko UCHIYAMA* · Fujishige SOMEYA**

ABSTRACT

The purpose of this study was to examine the influence of children's motivation by teaching alphabet and English words to fifth grade children using an English picture book. The research also sought to consider how well the alphabet and English words are taught in English class. Participants in this study were 27 fifth grade elementary school students. Reading time took place 11 times in the morning, and the Homeroom teacher (HRT) projected an English picture book on the electronic blackboard and read it. Using worksheets, the students then worked on transcribing the alphabet and English words.

An analysis of results revealed that the children's motivation to write increased significantly. A significant difference was also found in the comparison between pre- and post-tests regarding small and capital letters. Students also exhibited a significant increase in the number of English words they recognized.

In conclusion, it is clear that teaching practice with picture book materials has a significant effect on improving children's motivation to write and to establish their knowledge of the alphabet and English words. In the future, when we teach English as a subject, we hope this practice will be helpful.